



オーストラリア直送レポート

Vol.1

2015.8.12～ 出発から現地到着

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・林
- パーマストン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場

日本では、暦のうえでは秋に入っていますが、毎日うなるような暑さが続いています。そんな中、本日8月12日、第19回有田川町中学生海外研修出発の日を迎えました。6月から事前研修を重ねること7回。今年度の研修生はドリップストーン班吉備中学校生16人、パーマストン・ローズベリー班は金屋中学生2人、八幡中学生3人、信愛中学生1人、吉備中学生13人の合計29人です。最初は、異国の地への興味と不安を抱えていた研修生も出発の日を迎えた今日、最初と比べてたくましさを感じました。集合場所である、吉備庁舎のホールは研修生の熱気に包まれていました。大勢の保護者の方に見送られて、いざ関西国際空港に向かいました。研修生の笑顔と裏腹に保護者の方の我が子を異国の地に送り出す保護者の方の心境を考えると、改めて研修生を無事に保護者の方のもとに戻さなければとの責任感の重さを痛感しました。関西国際空港では、研修生達はリラックスした様子で、お菓子やジュースを買ったり、友達と談笑をしたり思い思いの時間の過ごし方をしていました。研修生は、税関の通過や関西国際空港から飛行機が飛び立つ瞬間などは、再び緊張を表情を見せていましたが、いざ飛行機が飛び立つと、順応性の高さをみせ機内で音楽を聴いたり、映画をみて過ごしていました。ただ、慣れない環境なのか、中々寝つけていない研修生も見受けられていました。シンガポールに着いて、研修生達の体調の確認をするとやはり、数名体調の不良を訴える者もいました。シンガポールで約3時間程度の自由時間の中で、体調がある程度回復して安心しました。シンガポールからダーウィンに向かう飛行機の中では、研修生達はすっかり飛行機のサービスに慣れたようで機内食の質問にもしっかり答えられていました。ダーウィンについて、研修生のホストファミリーといよいよ対面の時がやってきました。研修生達は、顔を見た事のないホストファミリーを名前だけを頼りに緊張した様で英語で質問しながら捜していました。しかし、ホストファミリーの方々の優しい笑顔に安心したのか、記念写真をとる時には打ち解けて入るよう見えました。今日から、普段過ごしている日本の家族とは別にオーストラリアのホストファミリーの家族





としての生活が始まります。その生活の中では、普段の普通が普通ではないと感じる時が訪れると思います。しかし、その普段の普通が普通ではないと感じた時こそが、チャンスだと思います。多様な文化、習慣、宗教などを感じ、研修生達がどう感じ、どう考え、どう行動するかが、今後の研修生達にきっと役に立つ日が来ると思います。そんな研修生達の、生きた経験や貴重な体験を全力でサポートしていきたいと思います。明日は、DS校への初登校ですが、学校で会ったらホストファミリーとどう過ごして、どう感じたのか研修生達一人一人に聞いてみようと思います。(林)

午後7時10分ごろ、吉備庁舎の玄関前には大きなスーツケースを持った研修生達が、保護者とともに集合し始める。それぞれ不安そうな表情を見せつつも、これから始まるオーストラリア研修に楽しみを感じている研修生の方が多く印象を受ける。吉備庁舎ロビーにて持ち物のチェックなどを済ませて午後7時45分、予定より少し遅れて赤バスなどに分乗して関西国際空港に向かう。途中の赤バスの中は終始賑やかな雰囲気であった。到着後、搭乗手続きを済ませる。添乗員からの説明を受け手続きカウンターに向かうが、初めての飛行機搭乗や、初めての海外出国ということもあってか、研修生の表情からは緊張した様子が窺えた。無事、出国手続きを終えた後は、出発ロビーで待機することになる。仲の良い友達と思い思いに、搭乗ロビーを散策したり、待合い席で談話する様子からは先ほどと違ったリラックスした様子も見られた。予定時刻になり、飛行機はシンガポールに向けて出発する。機内では、毛布を頭まで被って寝たり、機内ビデオを観たり、友達を話をしている子どもたちの様子があった。午前4時過ぎにシンガポール空港に到着する。明け方前ということもあり、外は暗い。研修生たちの表情からは、眠そうな様子が窺える。飛行機を降りる際に、担当者が体調を尋ねると、『眠い』『疲れた』と答える子もいる。次のオーストラリアに向けての飛行機の出発時刻は午前8時過ぎということもあって、それまで間は空港ロビーでの自由時間となる。シンガポール空港は、たくさんのショップがあり、研修生それぞれグループに別れラーメンを食べたり、お土産屋さんを散策したりして、自由時間を楽しむ。予定時刻となりオーストラリアに向け出発する。機内では食事が提供される。後から感想を聞くと『美味しかった』『食べにくかった』などと思いつきの感想があった。オーストラリア時間で午後2:53分無事ダーウィン空港に到着する。入国手続きを済ませた後、空港ロビーでホストファミリーとの初対面を迎える。その後、それぞれに記念撮影を行いホストファミリー宅へ向かう。慣れない飛行機での長距離、長時間での移動ということもあり、途中で体調不良を訴える子もあった。事前研修では、忘れ物が目立ち本番の行程に支障を来すのではとの心配もあったが、無事出発および出国することができた。研修生からは必要に応じて、担当者に対して『〇〇をして大丈夫ですか?』などと分からないことや、疑問に対する相談や尋ねる様子もあった。集合や移動などの団体行動時においてもスムーズな印象を受けた。引率担当者としては、慣れない海外生活での体調管理や精神的安定に気



を配りつつ、より良い研修行程となるよう行動していきたいと思いました。(松場)

お子様が有田川町中学生海外研修に応募されてから、約4か月が経ちました。これまでの準備期間を経て、待ちに待ったオーストラリア研修です。シンガポールの乗り継ぎまでは不安そうな顔も伺えましたが、ホストファミリーと会う頃には自分たちで積極的にホストファミリーを探す姿が見ることができました。この1週間は彼らにとって成長することができる機会であり、また一生思い出となる経験になることでしょう。私たちも研修団の一員として一緒にみなさんの成長を見守っていきたいと思います。(DS校引率教諭 田中、PS・RB校引率教諭 中)